

第5回理事会報告

日 時 平成31年4月24日(水)午後2時30分～同3時25分
場 所 日本歯科医師会 702会議室
出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 松村英雄、井上 孝
<総務理事> 今井 裕
<常任理事> 古橋會治、小林慶太、山本照子、小林隆太郎、
西原達次、古郷幹彦、森田 学、木本茂成、
栗原英見、宮崎 隆、櫻井 薫、関本恒夫
<理 事> 寺田仁志、松尾敬志、市川哲雄、森山啓司、
今里 聡、浅海淳一、宮脇卓也、渋谷 鑛、
尾崎哲則、弘中祥司、近藤壽郎、前田初彦、
宇井和彦

<オブザーバー>

□国際歯科研究学会日本部会会長
(今里 聡・本学会理事兼任)

欠席者 <理 事> 金子明寛、宮崎真至、富士谷盛興、安井利一、
坂下英明

<オブザーバー>

□日本学術会議会員、日本学術会議歯学委員会委員長
丹沢秀樹

[議長 今井総務理事]

1. 開 会

松村副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長より、挨拶が述べられた。

3. 紹 介

今井総務理事より、本年4月1日より本学会専門分科会へ新規加入した日本スポーツ歯科医学会より選出の安井利一理事、日本有病者歯科医療学会より選出の坂下英明理事は、本日、年度初めの教授会と重なり欠席の旨報告。

また、白土理事のご逝去に伴って、日本歯科医療管理学会より選出の尾崎哲則理事が紹介された。住友会長より、尾崎理事へ指名書とバッジの交付がなされた。

4. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

今井総務理事より、次の資料に基づき報告。

一般会務報告（平成31年1月17日～4月22日）

第7回常任理事会報告（平成31年1月23日）

第4回理事会報告（平成31年1月23日）

(2) 専門・認定分科会への情報提供

今井総務理事より、平成31年1月25日～4月18日の情報提供項目について資料に基づき報告。

2) 会計現況報告

古橋常任理事より、次の資料に基づき、会計現況報告。

学会会収支計算書（平成30年4月1日～2月28日）

第24回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成30年4月1日～2月28日）

3) 第24回日本歯科医学会学術大会関係報告について

松村副会長より、標記について、次の資料に基づき報告。

特に、シンボルマークの決定や、日本歯科医史学会に委託した大会記念誌担当チームの発足について言及がなされた。

第24回日本歯科医学会学術大会関係報告

（平成31年1月17日～4月22日）

4) 理事・評議員・予備評議員等の選出・交替について

今井総務理事より、標記について、資料に基づき以下の報告。日本スポーツ歯科医学会と日本有病者歯科医療学会が本年4月1日より専門分科会へ加入したことから、新たに選出された理事、評議員、予備評議員、学術研究委員について報告。

また、白土理事のご逝去に伴い、日本歯科医療管理学会の理事・評議員・予備評議員の交替について報告。

なお、任期はいずれも平成31年4月1日より令和元年6月30日までとなる。

役 職	新	所 属
理 事	安井 利一	日本スポーツ歯科医学会
評 議 員	上野 俊明	
評 議 員	武田 友孝	
予備評議員	月村 直樹	
予備評議員	松本 勝	
学術研究委員	前田 芳信	
理 事	坂下 英明	日本有病者歯科医療学会
評 議 員	大木 秀郎	
評 議 員	石垣 佳希	
予備評議員	宮田 勝	
予備評議員	岩淵 博史	
学術研究委員	栗田 浩	

役 職	新	旧	所 属
理 事	尾崎 哲則	白土 清司	日本歯科医療管理学会
評 議 員	藤井 一維	尾崎 哲則	
予備評議員	検討中	藤井 一維	

5) 日本歯科医学会役員業務分担について

今井総務理事より、白土理事のご逝去に伴い、尾崎新理事を歯科学術用語の担当理事とした旨の報告。

6) 認定分科会の資格更新について

井上副会長より、平成 31 年度事業計画において重点計画に掲げている、認定分科会資格更新の実施案について説明。

7) 厚生労働省医政局歯科保健課委託事業 「歯科健康診査推進事業」及び「歯科検診等の介入による効果に係る調査研究」について

森田常任理事より、標記について資料に基づき報告。市町村、事業所等で実施されている歯科検診を全国で効果的かつ効率的に実施するために必要な標準的な歯科検診の項目、実施方法のモデル等の検討や、歯科検診を実施した場合の医療費との関連性等の効果の検証等の調査事業を行っている旨報告。

8) その他

日本学術会議報告

丹沢歯学委員会委員長がご欠席のため、今井総務理事より、標記について歯学分野の大型研究計画をマスタープランに応募し、今後審査が開始される旨を、代理で口頭報告。

国際歯科研究学会日本部会報告

今里理事より、国際歯科研究学会日本部会の活動報告。

「選定療養として導入すべき事例等」の提案・意見一覧について

小林（隆）常任理事より、日本歯科医学会へ提出された「選定療養として導入すべき事例等」の提案、意見について報告がなされた。4月中旬の日本歯

科医学会への提出期限までに、分科会より①選定療養として新規導入すべき事例に関する提案が12件、②現行の選定療養の見直しに関する意見が3件提出された。医療技術評価提案書として提出予定の技術と重複がないことを確認済みである。

選定療養の定義も含めて問題提起を行う意味において、今回は分科会よりいただいた提案全てを厚生労働省へ提出予定である。

- 住友会長より、日本歯科医学会誌特別企画 座談会「子どもの食を育む歯科からのアプローチ」の冊子体について説明。
- 住友会長より、日本歯科医学会連合主催・日本歯科医学会共催の「第3回大型医療研究推進フォーラム 『大学発研究開発とベンチャー企業：研究成果から実用化への道筋』」について、ポスター・リーフレット等資料に基づき、説明。

5. 議 題

1) 平成31年度専門分科会助成金等の配分について

今井総務理事より、資料に基づき説明がなされ、全会一致により承認された。

2) 第100回臨時評議員会の開催（議案）について

今井総務理事より標記について日程案をもとに諮られ、協議の結果、この日程に基づき第100回臨時評議員会を開催することが承認された。

○第1号議案 平成30年度学会会計収支決算

○第2号議案 平成30年度第24回日本歯科医学会学術大会会計収支決算

今井総務理事より、標記について資料に基づき諮られた。

古橋常任理事より、現段階では会計処理の都合上、決算書類をご提示できないため、取扱いについては会長一任とさせていただき、臨時評議員会前に関係各位へ送付させていただく旨を説明。

協議の結果、第100回臨時評議員会の第1号議案、第2号議案として上程することが承認された。

○第3号議案 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙

今井総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、第100

回臨時評議員会の第3号議案として上程することが承認された。

3) 第100回臨時評議員会の運営について

今井総務理事より、標記についてタイムスケジュール案に基づき諮られ、協議の結果、一部修正の上、承認された。

小林（慶）常任理事より、当選証書の交付は、選挙管理委員会委員長からではないかとの提案があり、日本歯科医学会では、当選証書に、議長、選挙管理委員会委員長の両名が記載されているため、議長からの交付とシナリオに記載していたが、選挙管理委員会委員長から交付されるほうが合理的であるため、そのように一部運営を変更することとなった。

4) その他

井上副会長より、国際歯科研究学会日本部会への積極的な参加（会員加入）の呼びかけがなされた。

6. 閉 会

井上副会長より、閉会の辞。